

「あいち環境づくり推進協議会幹事会」会議録

日 時：平成 28 年 2 月 16 日（火）午後 2 時から午後 3 時 30 分まで

場 所：愛知県本庁舎 6 階 正庁

出席者：委員 30 人

説明のために出席した者（環境部職員） 9 人

傍聴人 0 人

概 要：

1 開会あいさつ（杉浦愛知県環境部長）

本県では、2005 年に環境をテーマとした愛知万博を開催して以来、2010 年には生物多様性保全のための世界目標である愛知目標が採択された COP10、そして、2014 年には ESD ユネスコ世界会議といった大きな国際イベントを成功させてきた。これも皆様方を始め、県民の皆様の御理解と御尽力の賜物と感謝している。

昨年、万博 10 周年を機に、神田前知事が新聞の特集で、「万博の一番の財産は県民の皆様の高い環境意識である」と申し出ていた。そうした高い環境に対する意識や取組が、その後の COP10、ESD ユネスコ世界会議を成功させてきた。

加えて本県は日本一の産業県である。大村知事は常に「日本一の産業県であるあいちには、環境面でもトップランナーを目指していきたい」と申し出ている。本県は産業力に裏打ちされた世界をリードするような高い環境技術も有している。こうしたことを背景に、我々は「環境首都あいち」を目指していくことを掲げている。持続可能な社会、持続可能な地球、世界に貢献するあいちを目指したいと考えている。そうしたあいちづくりを進める上で、何よりも大切なのは「人づくり」である。特に ESD ユネスコ世界会議を契機に、人を育てることの大切さを学び、本日発表した来年度の予算においても、環境部の最も重要施策として「人づくり」を掲げている。

今年度から大学生向けの人づくりプログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」をスタートさせたが、これも拡充させていきたいと考えている。また、昨年 10 月に世界 6 か国からインタープリターに集まっていたいただいた「インタープリター愛・地球ミーティング」の成果を踏まえて、小学校に入る前の小さい頃から、環境が大切だという意識を持った子供たちを自然の中で育てていくという取組を始めたいと考えている。

今後も、本日お集まりの皆様方とともに、環境基本計画に掲げた様々な取組を進めるため、情報交換や交流を図り、協働して計画を推進してまいりたいと考えているので、よろしく御協力をお願いします。

2 議事

(1) 「環境首都あいち」に向けた取組について

事務局から、資料1「第4次愛知県環境基本計画について」及び資料2「各団体の環境保全活動の取組状況（平成27・28年度）」について説明した。

一般社団法人愛知県建設業協会、530 運動環境協議会及び国際連合地域開発センターから、各団体の活動状況等について報告があった。

(2) 愛知県環境部の平成28年度新規事業等について

事務局から、資料3「愛知県環境部の平成28年度新規事業等について」、参考資料1「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」及び参考資料2「AELネットスタンプ帳」について説明した。

(3) 「環境首都あいち」に向けた重点活動方針について

事務局から、資料4「平成28年度「環境首都あいち」に向けた重点活動方針（案）」について説明し、出席した幹事の賛同により原案どおり採択された。

(4) その他

事務局から、参考資料3「愛知の環境のあらまし」及び参考資料4「エコリンクあいち」について説明した。

【質疑等】

(委員) 資料4の4に「簡易包装や買い物袋の持参に努める」とあるが、数年前、包装が簡素化された。しかし、最近、特にデパート等では、過剰な包装がなされるようになったと感じる。エネルギーについても、一時期、夜間の消灯など省エネに取り組んでいたが、最近、元に戻った気がする。

(事務局) まもなく東日本大震災から5年が経過し、一時期あった危機意識が薄れつつある中で、貴重な意見と考える。本日出席いただいている団体においても、今の意見について考えていただけるとし、県においても今の意見を踏まえ、機会を捉えて働きかけていきたいと考えている。

以上